看護部案内

2027



小樽市立病院

病院理念

小樽市立病院は
市民に信頼され質の高い総合的医療を行う

看護部理念

患者の人権を尊重し
やさしさと思いやりのある看護をめざします

看護部長ごあいさつ

当院は、2024 年 4 月に地域医療支援病院として承認されました。地域の医療を守る基幹病院としての役割を果たすため、地域の医療・介護機関等と連携し急性期医療を提供していきます。看護部は、change ! challenge ! chance !（変わることに挑戦できるチャンスがある）の精神をもち、個々の看護師が根拠に基づいた専門的知識・技術を習得し、安全で安心な看護を提供できるよう取り組んでいます。高齢化が進展する中、患者さんが住み慣れた地域で生活できるよう入院中のケアや連携のあり方を検討し、支援していくことが重要であると考えています。みなさんも仲間に加わり一緒に頑張りませんか。

看護部長　濱崎　弓子



先輩看護師からのメッセージ











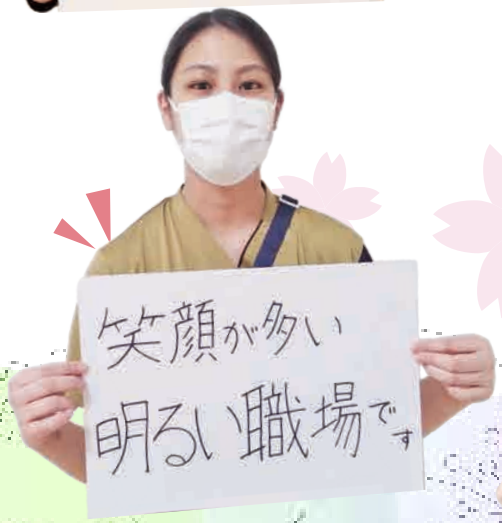



教育プログラム

看護師の育成

新人研修

4月 5月 6月 7月 8月 9月

- 基礎技術研修
- 静脈注射研修
- フィジカルアセスメント研修

3ヶ月フォローアップ研修

6ヶ月フォロー

- 静脈注射研修



ラダー研修＋認定プログラム研修

看護部教育委員会と認定看護師会がタイアップ

ラダーⅠ

- 新人教育

認定看護師による講習

- 皮膚・排泄ケア
- 摂食・嚥下障害看護
- 認知症看護
- 急性・重症患者看護
- 感染管理
- がん分野合同研修

ラダーⅡ

- 新人実地指導者研修（基礎・応用）
- 現場で出会う看護疑問
- メンバーシップ研修
- リーダーシップ研修（基礎）
- 看護倫理に基づく看護実践と業務　他

ラダーⅢ

- 退院支援・退院調整（基礎・応用）
- 臨地実習指導者研修（基礎・応用）
- 論理的文章（基礎）　他

ラダーⅣ

- 概念化スキル・分析・思考・判断力・問題解決技法研修（基礎）
- 患者・家族の意思決定支援
- 論理的文章（基礎）　他
- チームビルディングとオーナーシップ（基礎）他

育理念：
職業人として、時代のニーズにあった質の高い看護が提供できる倫理的かつ自律した看護師を育成する

10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月

アップ研修

●BLS 研修

12 ヶ月フォローアップ研修

ステップアップ I



専門・認定看護師が看護実践をサポート



患者さんのことを「理解」してケアするために、身体状況をアセスメントするだけではなく、心理面や社会面など様々な側面から患者さんをみつめ、ケアを検討することが大切です。
日々、教育委員会の集合研修や部署の先輩との関わりの中で、患者さんに向き合う方法を学びます。院内には認定看護師・専門看護師も他分野で活動しており、多視点で患者さんへの看護を実践しています。
看護は楽しいことも悲しいことも一緒にのりこえていける力があると思っています。皆さんも一緒に「看護」に challenge しませんか？

急性・重症患者看護専門看護師　作田　麻由美



摂食・嚥下障害看護認定看護師の工藤です。簡単に言うと、「食べる」ことの認定看護師です。病院では、疾患や加齢、環境変化など様々な理由で食べられなくなる人がいます。栄養手段は口からだけではありませんが、その人が望む限り「食べる」ことを叶えられるよう日々奮闘しています。「食べる」ことは、栄養補給の意味だけではなく、味わうよろこび、時には人とのつながりなど人生を豊かにするもののひとつだと思います。病院は病気を治すところですが、治療中も、治ってからも、生活していくその人を支えていく、それが私の認定看護師としての活動です。一人ではできない活動ですので、興味のある方はぜひ一緒に看護をしましょう。

摂食・嚥下障害看護認定看護師　工藤　聖子

新人ナースのある1日

1年目ナースです。
あっという間に過ぎていく毎日ですが、緊張感の中にも充実した日々を送っています。





よろしくお願いします

8：30
申し送り

9：00
担当患者さんにご挨拶



おはようございます



シャワーブースまで介助

10：00
看護業務





先輩と一緒に患者さんのお世話に入ります



点滴交換します



12：30
ランチタイム

感染対策のため、今はランチタイムは一人です



13：30
カンファレンス

病棟、多職種など色々なカンファレンスがあります

15：00
看護業務



記録もしっかりと



夜勤の看護師に引継ぎます

16：00
申し送り



仕事帰りは大好きなCafeでひといき♪

明日もよろしくお願いします

看護師の活躍の場は様々

患者支援センター

患者支援センターでは看護師、ソーシャルワーカー、医療事務が協働して活動をしています。
看護師は主に入院前・退院前支援、がん相談支援等を行っています。
入院が決まった患者さんに安心して入院生活を送っていただけるよう支援したり、退院される患者さんが退院後も必要な医療や看護を受けながら、どのように生活を送るかの意思決定の支援をしています。
がん相談支援では外来・入院に関わらず、患者さんの不安な気持ちに寄り添えるよう支援を行っています。



精神科医療センター デイケア

精神科デイケアは、当院精神科に通院されている方を対象とした、外来リハビリテーションの場です。様々な個人・集団活動を通して、デイケア利用者の心身の回復や安定を目指しています。看護師 2 名、作業療法士・精神保健福祉士各 1 名の 4 名で多角的にアプローチし、精神疾患を抱えながら地域で安定した生活を送るための支援を行っています。看護師として心身の状態を観察し、服薬指導等もしています。



緩和ケア管理室

患者さんが抱えるさまざまなつらさに対応するには、医師（ 身体症状担当医師・精神症状担当医師 ）、看護師、薬剤師、管理栄養士、MSW、理学療法士など、多職種がそれぞれの専門性を発揮し、力を合わせてチームとして取り組む必要があります。患者さんとご家族の大切にしている思いを尊重し、主治医や担当スタッフとも相談しながら、その人らしいより良い療養生活を送ることができるよう支援しています。



DMAT

DMAT とは 災害派遣医療チームのことです。災害拠点病院である当院には医師、看護師 2 名、事務調整員 2 名から構成される DMAT チームがあります。私自身は長い間、災害時に救える命を助けられる看護師になりたいと願っていました。そのために、スキルアップとして多くの研修に参加し、技術･知識･資格を修得し、DMAT チームに参加できることになりました。東日本、胆振東部地震においても、すこしは地域医療貢献ができたかなと思っています。一緒に、災害に強い医療従事者として働きませんか？あなたを待っています！



看護部概要

看護単位：15 単位

看護方式：チームナーシングと受け持ち制

勤務体制：3 交代制と 2 交代制

看護体制：急性期一般入院基本料入院料1、精神病棟入院基本料 15 対 1

処遇について

週休日 ： 4 週間ごとの期間につき 8 日間（4 週 8 休体制）

休　暇 ：年次有給休暇 年 20 日間付与、特別休暇 (健康増進、結婚、産前産後、服喪など)

給　料 ：大学卒 266,900 円、短大 3 卒 263,400 円、短大 2 卒 254,700 円

手　当 ：期末・勤勉手当 6 月・12 月、 住居手当、通勤手当、深夜勤務手当

その他 (扶養、時間外勤務、休日勤務、夜間勤務、寒冷地など各種手当あり)

保険等：都市共済に加盟（共済組合、共済年金）、公務災害補償基金

その他：院内に 24 時間保育所完備

アクセス

●南小樽駅から徒歩 1 分 (JR 札幌駅から快速で 30 分)

●都市間高速バスの停留所から徒歩 5 分 (札幌駅から 50 分)

●市内線の各バス停からも徒歩 1 ～ 5 分

●自家用車通勤は駐車場優遇あり

院内設備



職員用食堂



職員休憩室



コンビニエンスストア



銀行ＡＴＭ

行事



おたる潮まつり



ねりこみ　病院の雪あかりの路



病院まつり



病院発表会



大忘年会